

第20期第8回常任理事会議事録

日時 昭和54年4月19日 15.00~18.00

場所 気象庁総務部待機室

出席者 岸保, 小平, 浅井, 植村, 奥田, 関根, 新田,
松本, 増田, 山下.

報告〔庶務〕

1. 4月5日, トヨタ財団から, 昭和54年度研究助成応募要領を受領した(締切5月31日).
2. 4月7日, 日本学術会議地球物理学研究連絡委員会委員長井口昌平氏から, 当学会との連絡組織について申し出があった(本日の議題とする).
3. 4月10日, 農業気象学会から, 第26回風に関するシンポジウム講演募集について周知方依頼があった.

○昭和54年度総会提出議題書面審査

総数(理事) 27名中投票数23票

1. 山本賞(気象学の部)受賞者選定規程に関する件
2. 山本賞の設定に伴い学会賞および藤原賞(気象学会の部)受賞者選定規定を一部改正する件
3. 日本気象学会定款のうちの細則の一部改正の件

以上可とするもの 23

○昭和54年度学会賞, 藤原賞受賞者について

総数(理事) 27名中投票数25票

1. 学会賞 横山長之 可とするもの 25
2. 藤原賞 山本武夫 同上

〔会計〕

3月分会計報告, 各委員会とも, 昨年4月から本年3月までの委員会費の取支報告書を出していただきたい.

〔気象集誌〕

57巻1号からISSN(国際標準逐次刊行物番号)0026-1165をつけるようにした. また, 文部省科学研究費補助金(研究成果刊行費)の交付を受けていることを表示した.

〔気象研究ノート〕

137号からISSN 0387-5869を表示する. 「天気解析」は斎藤直輔氏に依頼してある. また, 「エーロゾル」特集の原稿は今月中に入手の予定.

〔講演企画〕

春季大会委員長には末広観測部長に依頼し承諾を得た. MAP(中層大気観測計画)について気象庁関口理郎氏を予定していたが, 出張のため代りに柳原一夫氏(気象庁観測部)に依頼した.

〔各賞〕

『天気』4月号に54年度日本気象学会奨励金受領候補者募集の告示をした. このコピーを添付して理事長名で気象庁の各管区気象台長および島貫陸氏へ依頼状を出すことにする.

議 題

1. 日本気象学会創立100周年記念事業について 4月9日に各関係理事が集まって作成した次の計画(案)について話し合いが持たれた. (1) 記念論文集の発刊(和文, 欧文) (2) 日本気象学会史の出版 (3) 記念式典 (4) 記念講演会 (5) 気象展覧会(気象測器展示会) とくに, 岸保理事長から Conference (GARP): Proposed Schedule についての説明があり, 国際会議が日本で開催できないかどうかの問題になった. そして, 気象学会が主体となって国際的な会議を開催したらという有望な意見が出た. 5月22日の全国理事会においてうえのことについて意見を聞いて方針を立て理事会終了後に準備委員会を発足させたい.
2. 賛助会員の勧誘について 趣意書, 申込書等の印刷ができたので, 各理事が担当して勧誘できることから先方へ趣意書等を送付する. 賛助会員になっていただくような会社を業種別にリストを作る.
3. 春季大会の準備について (1) 理事長あいさつ, 事業経過報告, 事業計画等について: 原案了承 (2) 昭和53年度決算書について: 基本金に200万円を繰り入れ, また, 3年後に迫った創立100周年記念事業積立預金として同じく200万円を計上することを了承. (3) 昭和54年度予算(案)について: 従来, 常任理事会, 理事会等に出席してもなら金銭的にむくわれていなかったが, 54年度では, 多少の出席旅費を支弁するための経費を計上することを了承.
4. 昭和55年度当番支部について 関西支部が当たることになるので, 事務局からあらかじめ連絡して了承を得ておく.
5. その他 陸水分科会との連絡組織について: 陸水分科会は, 連合体で活動がうまく行なわれないため各学会との連絡を密にするための連絡員を推薦して欲しい旨の依頼があったが, 当学会では, 毎月常任理事会が開かれるので理事会あて連絡して欲しい旨回

答することにする。

6. 各委員の交代，補充について

天気編集 田沢秀隆（東京管区技術課）

講演企画 舟田久之→磯野良徳（東京管区調査課）

奨励金および各賞 関根正幸→矢花知一（気象大学

校）

長期計画 青木孝→福谷博（長期予報課）

以上承認

承認事項 末広重二ほか41名の新入会員を承認